

ウェルビーイングは測ることができるか?⑥ ウェルビーイング県民意識調査 (その2)

色々な視点で見えてくる多様な姿と共通の傾向

「ウェルビーイング県民意識調査 (生活の実感に関する調査)」において、総合的な実感として、それぞれが考える最も理想的な生活に対する今の状態の自己評価を11段階 (10~0) で回答いただきました。また、持続的な面も捉えるため、現在だけでなく、過去・未来も併せて評価いただきました。

回答の平均を見ると、10代は全体的に評価が高く、その他の年代の数値は、5~6あたりとなっています。

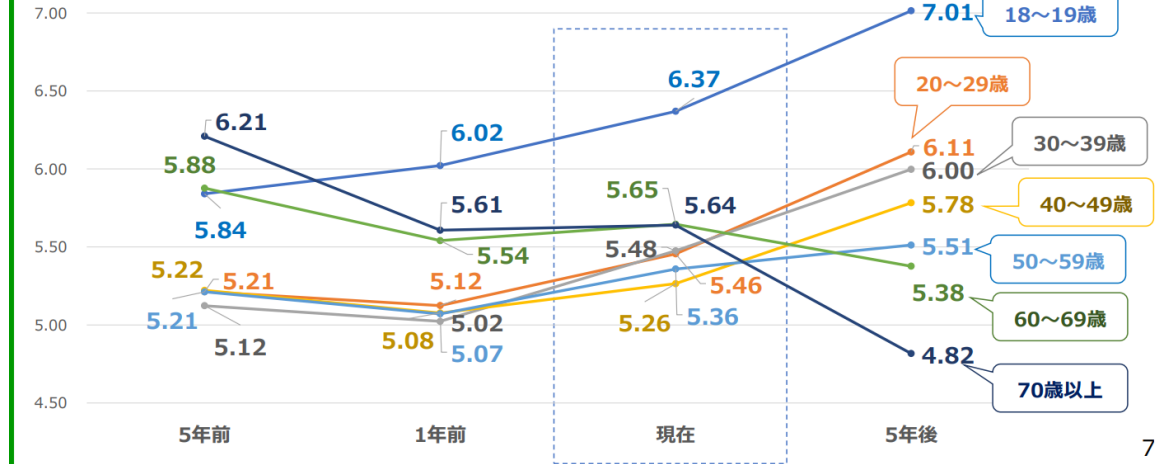
20代から50代は、1年前は、やはり新型コロナの影響が大きいと思われませんが5年前の評価から落ち込み、そして現在、未来にかけて上向きの評価となっています。60代以上は、5年前が最も高く、老後の不安という面があると思いますが未来の評価は大きく下がる傾向にあります。

回答割合で詳しく見ていくと、真ん中以上の評価の方は多いものの、20代や、仕事や育児等に多忙で就職氷河期世代にも該当する40代の低評価が多いことにも留意が必要です。

総合実感だけでも、年代別や性別など様々な視点を組み合わせて見ると、やはり多様で、でも一方で、何か共通性もある、そんなウェルビーイングの姿も見えてきます。速報版は[県ホームページ](#)に掲載しています。ぜひご覧ください。

速報版からの抜粋① 総合的な実感 (年代別平均)

- 各年齢層の平均を見ると、10代は全体的に評価が高く、将来に向けてポジティブな傾向
- 20~50代は5~6周りで推移、1年前は落ち込むが、5年前から現在、未来にかけ上向き評価
- 60代以上は、過去 (5年前) が高く、将来の評価は下がる傾向



速報版からの抜粋② 総合的な実感 (年代別・性別の割合)

- 男女別・年齢層別で「現在」評価を割合で詳しく見ると、6以上は18~19歳の男女、20・60代の女性で5割超
- 一方で、20・40代女性は4以下の割合も多い
- 20・40・50・70代以上の男性は4以下が3割前後、特に20・40代は「0~2」の低評価が多い

